

2012くらしのサポーター通信

夏期の節電について

ハイライト:

□今月のテーマ

・夏期の節電について

・よりよい環境のためにエコドライブ10のすすめ

□お知らせ

徳島県消費者大学校
大学院 学生募集

□交流コーナー

コラム

6月・水無月～梅雨～

今年の夏は、全国的に電力不足が懸念されています。

また、地球温暖化防止を図ることからも、電気などのエネルギーの節約が必要です。

特に電力については、四国電力管内では、7月2日から9月7日(8月13日～15日を除く、平日9時～20時)までの間、一昨年の夏に比べて7%以上の節電が要請されています。

資源エネルギー庁の推計では、夏の昼間の家庭での電気の使用量ではエアコンが第1位で58%、次に冷蔵庫で17%、以下テレビ、照明の順になっています。

そこで、身近な節電対策に取り組む必要があります。

○涼しいときには扇風機を使う。

外の温度が28℃以下のときは扇風機の活用や窓の開閉で意外な涼しさが実現できます。扇風機の風を直接当てるのではなく、サーキュレータ(空気循環器)として活用するのも一手です。

また、エアコンは自動清掃機能のあるものを選んだり、こまめな清掃で使用電力が削減できます。

“すだれ”や“よしず”などで窓からの日差しを和らげるとエアコンの節電になります。

※除湿運転やエアコンの頻繁なオンオフは電力の増加になる場合があるため注意が必要です。

※熱中症に注意

室内でも熱中症にかかる場合があります。適切な室温管理や水分補給にお気をつけください。特に、ご高齢の方や体調に不安のある方はお気をつけください。



○冷蔵庫に入れる食品は必要なものだけにする。

必要な物だけを必要なだけ使うことで節電になります。また、野菜や果実の中には常温保存がよいものもあります。もう一度見直してみましょう。

タマネギやジャガイモは常温でも傷みにくい野菜です。サツマイモ、サトイモ、ナス、バナナなどは冷蔵すると、逆に早くに傷んでしまいます。

常温保存できるからといって、すぐに冷蔵庫に入れてしまったものを取り出し、放置するのはよくありません。温度差で汗をかき、その水分で細菌が増殖してしまいます。常温保存できるものは、はじめから冷蔵庫に入れずに保存する工夫をしましょう。

○日中は不要な照明を消す。

○LED照明に転換する。(白熱電球→LED電球)

最も簡単な省エネの方法として注目されているLED電球。白熱電球に比べ長寿命でランニングコストの面からも有効です。

○テレビの利用を1台減らしてみる。

一家団らんでテレビを見ることで、使用するエアコンやテレビの数を減らし、消費電力を下げるといった工夫が有効です。

○電気ポット、電子レンジは使用方法を考えましょう。

電気ポットはできるだけ必要なときだけ温めて使い、保温は最小限にしましょう。

また、電子レンジも高出力の装置ですので、利用を極力抑え、大量のものを温めるときは他の加熱機器を活用するようにしてください。

○パソコンの利用時間を1時間短くする。

インターネットやオフィスソフトの利用にはノートパソコンを活用したり、待機電力をなくすなどの工夫も大事です。

※経済産業省の夏期の節電メニューもご覧ください。

http://www.meti.go.jp/setsuden/pdf/supply_120606_01e.pdf

よりよい環境のためにエコドライブ10のすすめ

1. ふんわりアクセル『eスタート』
やさしい発進を心がけましょう。
2. 加減速の少ない運転
車間距離は余裕を持って、交通状況に応じた安全な定速走行に努めましょう。
3. 早めのアクセルオフ
エンジンプレーキを積極的に使いましょう。
4. エアコンの使用を控えめに
車内を冷やし過ぎないようにしましょう。
5. アイドリングストップ
無用なアイドリングをやめましょう。
6. 暖機運転は適切に
エンジンをかけたらすぐ出発しましょう。
7. 道路交通情報の活用
出かける前に計画・準備をして、渋滞や道路障害等の情報をチェックしましょう。
8. タイヤの空気圧をこまめにチェック
タイヤの空気圧を適正に保つなど、確実な点検・整備を実施しましょう。
9. 不要な荷物は積まずに走行
不要な荷物を積まないようにしましょう。
10. 駐車場所に注意
渋滞などをまねくことから、違法駐車はやめましょう。

(一般社団法人日本自動車工業会)

夏の車でのお出かけにもエコドライブを心がけ、環境にも家計にもやさしい生活でこの夏を乗り切りましょう。

徳島県消費者情報センター

〒770-0851

徳島市徳島町城内2番地1

とくぎんトモニプラザ 5階

- ・相談電話 088-623-0110
- ・啓発受付 088-625-8285
- ・事務担当 088-623-0612
- ・ファクシミリ 088-623-0174

Email: t-shouhi@mail.pref.tokushima.lg.jp

ホームページ

<http://www.pref.tokushima.jp/shohi/>

交流コーナー

くらしのサポーターのみなさんの質問や情報をお待ちしています。

くらしのコラム

6月・水無月～梅雨～

私の通った小学校は、梅雨の忙しい時期には、農家の子のために農繁休暇があった。非農家の児童は通学させられたが、農家にとっては小学生であっても重要な働き手だった。

6月は水無月と言われ「田に水を引く月」の意味である。田植えには田に水が満たされねばならないので、梅雨は鬱陶しくても農作業には、水を施してくれるありがたいものでもあった。

今や水無月・梅雨時に田植えをしている家は稀だろう。田植えをする早乙女の言葉も聞かない。高校も農村生活科の類の在学3年半で秋卒業の定時制高校も聞かなくなった。

6月を水無月と覚えるが、暦と生活の感覚は乖離している。

くらしのサポーター 三原茂雄



くらしのサポーター担当者より

台風の被害はなかったでしょうか。

6月の上陸は8年ぶりだそうで、暑い夏も予想されますが、創意工夫で節電の夏を乗り切りたいと思います。

くらしのサポーターを募集中です。消費者問題で困ったときに身近に相談できる人がいることが大切ですので、くらしのサポーターが身近な存在になるようにと思っています。

食中毒の季節ですので、お気をつけください。

平成24年度徳島県消費者大学校大学院 学生募集！

【とき】8月25日～9月15日の間の土曜日（全4回）

【ところ】とくぎんトモニプラザ

【対象】次の条件を備えている方（1）県内に在住する満20歳以上の男女であって継続して全講座を受講できる方（2）消費者問題分野について基礎的知識を有する方、または地域の消費者活動に積極的に関わっている方（3）卒業後は消費者問題について、地域の各種学習会・研修会への講師として啓発にあたる等、消費者活動の指導者になることができる方

【定員】30名程度

【諸費用】入学金、授業料は無料

ただし、テキスト代等の実費5,000円が必要

【募集期間】7月2日～8月2日

【問】NPO法人徳島県消費者協会（電話625-8285）